

北神けいろうの国政報告：3月号

○いつも大変お世話になっています。

先月号では、自らの身を切る改革について、ご報告しました。

現在、「社会保障と税の一体改革」について議論を行っていますが、今月はこれまで実施してきた「予算の組み替え」による財源確保や、これまでに取り組んできた「社会保障制度の立て直し」についてお伝えします。

予算の組み替えによる財源確保

○2010年度には9.9兆円の財源をねん出
(行政改革や補助金の見直し)

☞このうち、想定外の税収減(リーマンショック)、年金財源や社会保障費の自然増の一部を充当したため、マニフェスト(高校無償化、農業の戸別所得補償、子ども手当など)の実現に充てた財源は3.1兆円となりました。

○2011年度には6.9兆円の財源をねん出

☞前年と同様に税収減、年金財源や社会保障費の自然増の一部を充当したため、マニフェストの実現に充てた財源は3.3兆円となりました。

政権交代後の「社会保障制度」の立て直し

<医療>

2010年に診療報酬を10年ぶりにプラス改定し、医師・看護師などの増員に努める医療機関、産科・小児科、救急医療などに重点配分しました。

<年金>

「消えた年金」記録の統合・回復を着実に実施し、約5000万件あった未統合記録については、1600万件(1264万人)の年金記録を統合しました。記録が見つかり、増えた年金額の総額(生涯額)は少なくとも1.5兆円に達しています。

<介護>

介護が必要になっても高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるようにするため、24時間対応の「定期巡回・随時対応型サービス」を創設しました。

<子育て・教育>

○保育所の定員を大幅に増加しました。

1. 1万人増(2009年度)⇒4.6万人増(2011年度)

○生活保護の母子加算を復活し、父子家庭にも児童扶養手当を支給するようにしました。

○高校無償化等により、経済的理由による中退者数が高校で36.7%と大幅に減少しました。